

ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

## ●フォームからの問合せ情報約7年分、不正アクセスで流出か

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2310/30/news149.html>  
[https://www.bigmotor.co.jp/lib/news/news\\_list.php?id=703](https://www.bigmotor.co.jp/lib/news/news_list.php?id=703)



### このニュースをザックリ言うと…

- 10月30日(日本時間)、中古車売買の**ビッグモーター社**より、同社**Webサーバー**が**不正アクセス**を受け、**個人情報**が流出した可能性があると発表されました。
- 被害を受けたのは、**2016年11月～2023年8月**にかけての**問合せフォーム**利用者の**氏名・住所・電話番号・メールアドレス**等とされています(件数未発表)。
- **8月18日**に**不正アクセス**が発覚後、**サーバー上に保管**されている**個人情報の削除**と、当該フォームを含むWebサイトの一部を停止したとしています。

### AUS便りからの所感等

- **クレジットカード情報・マイナンバー**情報は**収集しておらず**、また**顧客情報**は別のシステムで保管しており、それぞれ**流出はない**とのことでした。
- 流出した情報は問合せへの**回答に必要な最低限の情報**とみられますが、そのような**必要に応じ収集し保有しているもの**についても、**不要となり次第、適切にサーバー上等から破棄するようルールとシステムの整備**を行うことは大切でしょう。
- この他、一般論とはなりますが、**流出しては困る**センシティブな**情報**についてはできる限り**最初から収集しない**ようにすること、**万が一に不正アクセスが発生**した際のデータの**外部への流出を食い止めたり監視したりする出口対策**を行うことも重要です。



### ビッグモーターに不正アクセス、個人情報漏えいか フォームからの問い合わせ、約7年分

© 2023年10月30日 17時30分 公開

[ITmedia]

中古車販売などを手がけるビッグモーター（東京都多摩市）は10月30日、自社Webサイトが第三者による不正アクセスを受け、「お問い合わせフォーム」から同社に連絡していた顧客の個人情報の一部が漏えいした可能性があると発表した。クレジットカード情報などは含まれていない。



ビッグモーターのWebサイト

同社によると、今年8月18日にWebサイトへの不正アクセスの痕跡を確認。該当するサーバーには、2016年11月から23年8月までにお問い合わせフォームを利用した人の住所、氏名、電話番号、メールアドレスなどの情報が含まれていた。クレカ情報やマイナンバー情報は収集していなかった。



## ●宛先を「Bcc:」以外に入力…メールアドレス流出相次ぐ

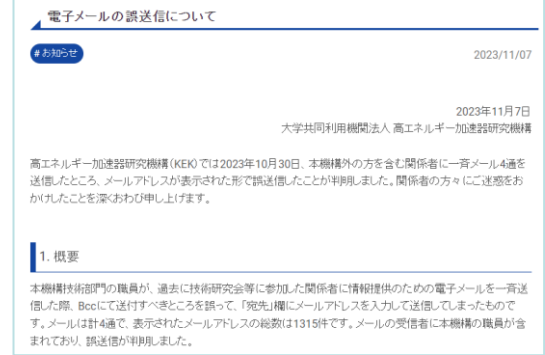
<https://www.kek.jp/ja/notice/202311071100/>  
<https://www.solize.com/news/2023/1102/>  
<https://www.city.inuyama.aichi.jp/kurashi/community/1009832/1010150.html>

### このニュースをザックリ言うと…

- 11月7日(日本時間)、高エネルギー加速器研究機構(KEK)より、**メール送信時の問題**で、**送信相手のメールアドレス1,315件**が流出した可能性があると発表されました。
- 10月30日に関係者への情報提供のため、計4通のメールを一齐送信した際、**メールアドレスをBcc:に入力するところ、誤って宛先欄(To:とみられる)に入力**したとしています。
- 11月2日には3Dプリンティング等を手掛ける**SOLIZE社**より**同様のミス**でイベント参加者**70件**、同2日には**犬山市**からもセッション参加予定者**11件**のアドレス流出が発表されています。

### AUS便りからの所感

- **再発防止策**として、3組織では「宛先の厳密なチェック(ダブルチェック等)」を、加えてKEKは「Bcc:の原則使用禁止」「メーリングリストの活用」、SERIZE社も「メール配信システムの利用」を行うとしています。
- 数百件という**多数のメールアドレスをメーラーのBcc:欄にコピー&ペースト**したり、**ダブルチェック等**を行ったりといった**人かに依存するやり方は、ケアレスミスから流出に至ることを根本的に防止するものではなく、同報メール配信システムやメーリングリストの活用、メーラーで対応せざるを得ない場合はメーラー自身やアドオンの誤送信防止機能の使用、またメールサーバーやUTMにおける不審な大量送信時のチェック機構等があれば併せて使用するといった、システム側での対策**を行うことを検討すべきです。
- ただし、システムによる対策においても、**複雑な機構に潜むバグ**(AUS便り2021/08/03号参照)であったり、**有償サービスの更新忘れで機能しなくなる**(同2023/04/18号参照)**ケースも報告**されており、大量送信を想定したテスト等は不可欠でしょう。



## ●Windowsドライバーの脆弱性によるPC乗っ取りの可能性に注意喚起

<https://news.mynavi.jp/techplus/article/20231106-2811370/>  
<https://thehackernews.com/2023/11/researchers-find-34-windows-drivers.html>  
<https://blogs.vmware.com/security/2023/10/hunting-vulnerable-kernel-drivers.html>



### このニュースをザックリ言うと…

- 11月2日(現地時間)、「The Hacker News」にて、**Windowsのドライバーにデバイスの乗っ取りが可能な脆弱性が確認**されたとする調査結果が取り上げられています。
- VMware傘下のセキュリティ研究企業であるVMWare Carbon Black社が10月31日に報告したもので、**脆弱性を悪用することにより、権限を持たない攻撃者がファームウェアを消去・改変**したり、**OS上でより高い権限を取得**する可能性があるとして発表されています。
- IntelやAMDをはじめ、主要なチップ・BIOS・PCメーカー製を含む**34のドライバー**で、脆弱性が存在するとしています。

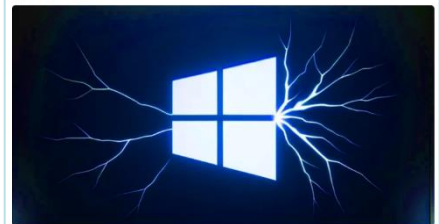
### AUS便りからの所感

- 報告においては、Windows 11上の一般ユーザーが脆弱性を悪用する**スクリプト**を実行し、**システム権限アカウントにログイン**したり、**ファームウェアを消去してPCが起動しないようにする**等の実行例が掲載されています。
- ドライバーの脆弱性の悪用は、**多くはリモートから直接ではなく、メールの添付ファイルやフィッシングサイト等からダウンロードした不正なプログラム・マルウェア等を巧妙に実行させる**等の手口が考えられます。
- **Windows Updateの実行のみではシステム上のドライバー全てが更新されるとは限らず、ドライバーを提供するベンダーによる独自のユーティリティ等によって最新に保つよう努めること、またマルウェア等のダウンロード・実行を防ぐためPC上でのアンチウイルスの有効化およびUTMによる防御**が重要です。

## The Hacker News

Researchers Find 34 Windows Drivers Vulnerable to Full Device Takeover

Nov 02, 2023 | Newsroom



As many as 34 unique vulnerable Windows Driver Model (WDM) and Windows Driver Frameworks (WDF) drivers could be exploited by non-privileged threat actors to gain full control of the devices and execute arbitrary code on the underlying systems.

"By exploiting the drivers, an attacker without privilege may erase/alter firmware, and/or elevate [operating system] privileges," Takehiro Haruyama, a senior threat researcher at VMware Carbon Black, said.